

事業所名

真友ライト

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念	子どもたち、ご家庭にとって第二の家庭的な役割をにない、誰しもが選択肢を広げ、輝ける未来を創る。 自信・笑顔・希望の提供						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの原動力となる「楽しさ」を大切に、様々な経験を重ね、成長につなげていきます。 神経学に基づいて「今できること」「これから」に焦点をあて、成長の機会を見逃さずに支援していきます。 家庭や学校、関係機関と連携をはかりサポートしていきます。 						
営業時間	10 時	0 分	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日々の検温、服薬の状況、健康状態、気持ちの状態の確認。 身辺自立、生活スキルの獲得において、個別の状態に合わせてのポイント活動の提供。 基本的な生活習慣の確立にむけての相談援助。 将来的な個別の自立イメージに向けて必要な力を子どもといっしょに考え、スキルを取得する機会をつくる。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 神経学にもとづく、呼吸、ストレッチ、タッチケア、エクササイズを通して身体の発達を土台を整える。 日々の活動の中で、様々な感覚をえられる場を盛り込んで提供する。 施設外支援（体育館や公園、プール等）においてダイナミックに身体を動かす機会を多く設ける。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール把握、時間の概念、数や図形、色、物、大きさ、長さなどの生活に関わる概念について個別の状態に合わせて支援する。 自分の感情や行動や考え方の傾向など個別の理解の状況に合わせて自覚をうながす中で、自分を上げていけるようにする。 自分と周りとはちがうこと、折り合いをつける過程を丁寧にに関わり支援することで、体験を重ねられるようにする。 子ども自身がサークル活動を企画したり、イベントを企画する経験を通して自分や周りの人の認知や行動を考える機会を作る。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメントの形成、信頼関係を基盤とし、安心安全を感じられる状態を軸とする。 口周りのタッチケアやエクササイズ、口腔内（舌や筋肉等）の状態を確認。 伝えたい気持ちを大切に、必要に応じて代弁する中で言葉だけでなくコミュニケーションを楽しめるようにする。 言葉の語彙や意味理解、状況に応じてのやりとりの適切な経験を重ねる。 子ども同士という場をあえてつくり、指導員がサポートする中で子どもが自分で選択したり、チャレンジしたりする経験を増やす。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動の中でルール、決まりにおいて、段階的に適応し、協調性を養えるようサポート。 自己存在感と自己有用感をベースに、集団の中でも自分や他の人との同じ、ちがうを知り、双方認められる経験を支援する。 施設外活動を通じて社会のルールや交通マナー等を習得できる機会を多く設けられるようにする。 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 定期面談、SNSやシステムを安全に活用し、交流をはかりやすくする。 ご家族、ご兄弟の相談を気軽にできる機会（茶話会）を設ける。 保護者向けの勉強会や講演会を実施する 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 移行支援会議（契約前・契約終了前）に積極的に出席し、情報をえる。また提供する。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関との情報共有をはかる。（担当者会議・授業参観・支援会議・その他会議） 地域イベントへの参加。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 法人内研修（月2回）の実施。 外部研修にも積極的に参加する。 BBAs研修実施。 				
主な行事等	長期休暇期間：施設外活動イベント実施 防災訓練：月1回						